

第3学年 社会科（公民的分野）学習指導案（略案）

- 1 日時 令和3年 9月 17日（金） 4校時
 2 学年 第3学年1組（31名）
 3 単元名 私たちが生きる現代社会の特色（日本文教出版）
 4 本時のねらい

【教科としてのねらい】

インターネット上での誹謗・中傷が重大な人権問題となり、個々の意識を向上させる取組の必要性や、法制上の厳罰化が話題となっている。一方で企業等はこうした書き込みを減らすためのアプリ開発や社会実験を行い、より効果的に改善できる方法を模索中である。こうした企業等の取組を調べ、その意義や課題について個々の意見・感想を持つ。

【人権教育の視点に立ったねらい】

調べた内容に対する意見・感想を他者と交流することで、人権問題を自分の問題としてとらえさせる。また、自分を含む社会全体の取組が人権を守ることにつながることに気づかせ、自他の人権を守る意識と態度を育む。

5 評価の観点

① **【知識・技能】**

・Chromebookを活用して本時のねらいに則した資料を収集し、内容をワークシートに簡潔にまとめることができる。

② **【思考・判断・表現】**

・まとめた内容の意義・課題を自分なりに考えて、ワークシートに簡潔にまとめることができる。

③ **【主体的な態度】**

・まとめた内容を他者に簡潔に説明するとともに、他者の説明を意欲的に聞き、質問することができる。
 ・学習したことを自分自身の課題としてとらえ、本時の振り返りができる。

6 本時の流れ

	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>【めあての提示・学習の流れの確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誹謗・中傷をなくすためのアプリ開発や社会実験について調べ、その意義や課題を考える。 ・調べた内容や感想を他者と交流し、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「個人の意識向上」「厳罰化」以外に社会全体の方で誹謗・中傷をなくすことはできないかを問いかけ、本時のねらいを焦点化する。
展開 40分	<p>① Chromebookで企業の取組や大学の社会実験を探す。（10分）</p> <p>② 調べた内容の意義と課題について、自分なりの意見を持つ。（10分）</p> <p>③ ①②について他者と交流する。（15分）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容をワークシートに簡潔にまとめさせる。【知識・技能】 ・机間指導により、活動を補助する。 ・実際に自分たちが使うことを想定して意見をまとめさせる。【思考・判断・表現】 ・4人1組で行う。 ・互いに質疑応答の時間を取り、他者の発表に対する感想も述べ合う。 ・机間指導により交流を促す。 ・「目を見て聞く」「うなずく等の反応をする」「問い返す」等、他者を尊重した話し合いの基本的な態度を意識させる。【主体的な態度】
まとめ 5分	<p>【学習の振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時の感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通しての感想と、改めて誹謗・中傷をなくすために必要だと思ったことは何かを記入する。